

大 学 院 特 別 講 義

(医歯学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、
多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 大木 研一 先生
 九州大学大学院医学研究院 教授
- 2 . 演 題 大脳皮質の機能構築
- 3 . 日 時 平成 23 年 12 月 19 日 (月)
 17 時 30 分 ~ 19 時 00 分
- 4 . 場 所 M&D タワー 2 階 共用講義室 2
- 5 . 内 容

大脳皮質は、外界から情報を受け取り、それを処理することによって、複雑な反応選択性を獲得しているが、実際にどのような神経回路によって、この情報処理がなされているかについては、依然として不明である。近年、イメージング技術の進歩（二光子励起法）により、生体から数千個の神経細胞の活動を同時に計測することが可能になった(Ohki et al., 2005, 2006)。他にも、神経回路を調べる技術が続々と開発されており、神経科学の研究は変革期を迎えつつある。このセミナーでは、これら最新の手法を用いて、視覚野の神経回路が情報処理を行う上での基本構造とその発生のメカニズムを解明していくには、どうしたらいいのかについて、議論したい。

連絡先：神経機能形態学（内線：5 1 4 9）